

大阪・関西万博における 東北プロモーション事業

業務仕様書（案）

（一社）東北観光推進機構

仕様書

1. 事業名

大阪・関西万博における東北プロモーション事業

2. 目的

大阪・関西万博において、東北絆まつり等と連携した自治体参加催事における催しや展示等の実施により、東北の魅力を強力に発信することで東北の認知度向上や国内外からの誘客を促進し、東北への旅行者数の増加を目指す。

3. 委託金額

金 120,000,000 円（消費税及び地方消費税を含む）

東北観光推進機構と契約の締結を行うこと。

なお、委託金の支払いは、事業完了報告書の確認の後、東北観光推進機構が、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県（以下、「連携自治体」という。）からの負担金（上記委託金額）の受取を完了した後に遅滞なく行うものとする。

4. 契約期間

契約日から 2025 年 8 月 29 日まで

5. 業務内容

（1）東北絆まつり等と連携した、東北への誘客促進のためのプロモーション

（ア）実施概要

大阪・関西万博会場で実施される「東北絆まつり」（本件と同時に「東北絆まつり実行委員会」により別途事業者公募。仙台市、青森市、盛岡市、秋田市、山形市、福島市（以下、「東北六市」という。）により実施。）のパレードに合わせて、連携自治体により、他地域では味わえない東北の食、文化、自然等の魅力を国内外に広く発信することで、東北への誘客の推進を図るため、東北PRブース（特産品・郷土料理・伝統工芸品の販売や紹介、パネル展示、観光PR映像等）やステージアトラクションの企画、会場の設計・施工及び装飾に加え、運営管理、東北PRブース出展者（以下、「ブース出展者」という。）募集・調整等を行うとともに、事前告知や誘客のための広告等を実施し、事業実施効果の最大化を図る。

（イ）基本方針

以下の方針に基づき、適切に対応すること。

- ① 本プロモーションは実施主体である連携自治体及び東北観光推進機構のほか、東北六市、公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会（以下、「万博協会」という。）、経済団体、民間事業者等の関係者との連携が不可欠であることから、それらと密接に連携すること。
- ② 本プロモーションは「東北地域の認知度向上」及び「東北地域への誘客」に資する内容とする

こと。

- ③ 東北六市により実施される「東北絆まつり」パレードとの連携や相乗効果を念頭に置いた内容とすること。
- ④ 万博協会作成の各種ガイドライン等のルールを遵守すること。

(ウ) 実施内容

本プロモーションを実施するに当たり、以下の日程、規模で開催することとし、実施にあたっての各種準備・調整を実施すること。

① 開催予定日

2025 年 6 月 13 日（金）～15 日（日）（会場設営日等は含まない。会場利用可能日 2025 年 6 月 12 日（木）～16 日（月））

② 開催会場

- ・万博会場内の EXPO アリーナ（詳細は下記 URL 参照）

URL：https://www.expo2025.or.jp/wp/wp-content/uploads/240531_06_guide_Matsuri-1.pdf

- ・会場は回遊や混雑対応に配慮した適切な基本設計、レイアウトとすること。また、提案時にその案を提示すること。
- ・東北一体となったプロモーションを図るため、「Treasureland TOHOKU JAPAN」のロゴを各所に使用する等、東北の一体感を醸成できる装飾を行うこと。

③ 想定規模

1 日当たり最大 15 万人程度の集客、かつ、ステージアトラクションにおいての最大同時観客数は 1 万人程度を想定すること。

④ テーマ設定

- ・「東北絆まつり」パレードの連携や相乗効果に資する内容にすることに加え、東北地域の観光コンテンツを網羅的に訴求するのではなく、来場者の関心を引くテーマを設定すること。
- ・設定するテーマは、名称、東北 PR ブース出展内容、ステージアトラクション、会場装飾等にも反映させるよう連携自治体及び東北観光推進機構等と調整を行うこと。

⑤ 東北 PR ブースの企画・運営

東北地域への誘客につながる内容とするために、視覚や聴覚に訴える情報発信に留まらず、東北の郷土料理や伝統文化、工芸体験等、五感や購買意欲を刺激する東北 PR ブースを企画・運営すること。なお、ブース出展における販売、紹介、展示、体験企画等を実施する場合の費用（材料費、送料、指導員及び調理員に係る手配料＜謝礼金、移動交通費、宿泊費等＞等）は、委託金額に含むこととする。

⑥ ブース出展者の募集等に関する提案・実施

- ・ブース出展者（東北六市、DMO、民間事業者、旅行会社等）の募集・出展要綱、募集フロー、物資運搬方法等を示し、ブース出展者募集を行うこと。
- ・上記に加え、PR ブース設計に係るオプションを示し、出展者募集にあわせて準備すること。
- ・PR ブースの壁面装飾などを行う際には、単に知名度のある観光地を並べるのではなく、直近のインバウンドのニーズなどを分析した上で連携自治体及び東北観光推進機構に提案し、且つ

会場全体や出展エリアごとに一定の統一感が感じられるようなデザインとすること。

- ・開催後には、ブース出展者向けアンケートを実施し、その結果を分析し、連携自治体及び東北観光推進機構に報告すること。

⑦ ステージアトラクション

- ・会場内のステージ（大型LED映像装置【中央 670 インチ、左右 500 インチ】を含む。）を活用し、東北地域にゆかりのあるステージアトラクションを企画・実施すること。
- ・東北地域にゆかりのあるステージアトラクションを東北 6 県の関係団体へ広く呼びかけるなどし、募集すること。また、応募された内容を踏まえ、ステージアトラクションの全出演者のスケジュールを調整し運営すること。

※出演者の出演料・旅費・保険料等は全て委託金額に含むこととする。

- ・東北の認知度向上及び誘客に繋がるような会場装飾を施すこと。
- ・ステージ周辺には、ステージ鑑賞スペースを設置すること。
- ・出演者及び着ぐるみの脱着を含めた控えスペースを用意すること。

⑧ オープニングセレモニー

- ・開催日初日の十分な集客が見込める時間帯に、連携自治体知事等の東北地域関係者が参加するオープニングセレモニーを実施すること。その際、セレモニー参加者の参加に関わる調整、交渉、誘導等の対応を適切に行うこと。また、控えスペースを用意すること。
- ・参加者や招待メディア等を事前にリスト化すること。なお、選定においては、連携自治体及び東北観光推進機構と協議の上決定する。

⑨ 司会・通訳

PRブース及びステージアトラクションの司会・通訳は、訪日促進イベントでの実績が豊富で、原則東北の観光に関する知識を持つ人物を選定すること。

⑩ 補償対応

本事業が悪天候等や不測且つ突発的な事由により中止又は変更となった補償、また急激且つ偶発な外来の事故による傷害補償、機材・展示品への動産補償、会場施設の財物損壊補償、以上を補償する保険を付保した提案とすること。（補償額は任意）

⑪ 協賛の募集

- ・開催に係る協賛の募集を行い、運営に係る費用の獲得に努めること。
- ・協賛金額や物品提供に応じ、各種広告物への協賛団体クレジットの掲載や会場内で協賛団体のPRを図る仕組みを提案し、実施すること。

⑫ アンケート調査の実施・集計・分析

- ・来場者を対象としたアンケート（3,000 サンプル程度、言語：日本語、英語、その他の言語）を東北観光推進機構のCRMシステム「TOHOKU Fan Club」を使用し実施すること。
- ・アンケート協力者に対するギブアウェイ（3,000 個程度）を提案・手配すること。ギブアウェイは本イベント限定で入手できるものを作成し、来場のインセンティブとすること。
- ・その他、アンケートの実施に関する準備をすること。
- ・アンケート結果を集約し、分析・翻訳すること。

⑬ 特産品販売実績等の報告

ブース出展者が東北関連の特産品販売を行う場合は、個数や売上額の販売実績を把握する仕組みを構築し、連携自治体及び東北観光推進機構に報告すること。なお、本事業は、東北6県に特化したものであることから、東北6県を含まない情報発信、商品販売は認めない。

⑭ 留意事項

- ・提案にあたっては、万博協会から提供可能な情報を限度として、諸条件（施設概要、使用料、会場面積・収容人数・天井高等の施設規模、インターネット環境、アクセス、レギュレーション等）を明記すること。特にレギュレーションは、火器（調理用を想定）使用の有無や高さ制限、騒音制限等、実施内容に影響するものは、詳細に記載すること。また、会場の図面についてもあわせて明記すること。
- ・荒天によるパレード中止の際も、変更なく運営できる内容とすること。

(エ) 広告・宣伝について

以下の方針に基づき、イベントの広告宣伝・広報手法を「事前」、「開催中」、「事後（実施報告）」のフェーズに分けて提案し、連携自治体及び東北観光推進機構と協議の上、実施すること。

- ① 来場者数の最大化を目的とし、万博来場者に対して効果的な広告宣伝・広報施策を提案すること。最適な媒体、手法、実施時期、実施回数等を提案することとし、施策実施後はその効果や実績を分析すること。
- ② 事前にメディアへプレスリリース等を行い、セレモニーやPRブース、ステージアトラクション等の露出、宣伝や告知に繋がるよう働きかけを行うこと。また、日本語、英語及びその他言語に対応したメディア専門要員を配置し、取材申し込みの対応やイベント当日の対応を行うこと。
- ③ 大阪・関西地域における東北に関連する施設や旅行博等と連携し、事前告知が可能な場合は、広告宣伝の企画提案に含めること。
- ④ 各県等が運営する SNS と連携した取組みを実施し、東北のPRや開催中・開催後のフォロー獲得に繋げること。

(オ) その他

- ① ブース出展者及びステージアトラクションの募集及びとりまとめ、各種調整、資料輸送に関するとりまとめ、共通装飾に関する調整等、東北の出展事務局としての窓口機能を担うこと。また、過去にPRブース出展経験の無いPRブース出展希望者については、連携自治体及び東北観光推進機構に報告の上、必要に応じて信用等調査を行い、業務内容・実態を把握すること。
- ② ブース出展者が実施予定の誘客促進施策に対して、ブース出展者及びその実施内容の決定後、可能なサポートを実施すること。
- ③ ブース出展者がブース内で物販を行うことができるよう、現地販売の準備・調整を適切に行うこと。
- ④ 現地スタッフ等を雇用する場合は、東北観光に係る知識を有する者や英語やその他言語にて意思疎通可能な者を優先して雇用すること。

- ⑤ 運営実施マニュアルを作成の上、ブース出展者及びステージアトラクション出演者を含む関係者に配布すること。
- ⑥ 連携自治体が提供する観光PR資料等の集約及び発送を行うこと。追加での発送を希望する自治体については別途費用を徴収し対応すること。
- ⑦ 東北観光推進機構のCRMシステム「TOHOKU Fan Club」入会促進を行うこと。
- ⑧ 事業実施における管理・運営のため、必要な人員を確保すること。また、派遣に要する費用（交通費、宿泊費等）や万博協会に支払う必要がある経費（施設使用料、施設管理費、光熱水費、通信費、空調費、保険料及びごみ処理費用等）を見積に計上すること。
- ⑨ 「東北絆まつり実行委員会」が委託する事業者と連携・調整を図り、東北一体となったプロモーションを展開するとともに、円滑な運営に努めること。
- ⑩ 事業実施に資する独自の提案などがある場合、あわせて提案すること。

6. 事業報告書に関すること

2025年8月29日までに事業完了報告書を提出すること。

7. 事業効果の把握等に関すること

- (1) 本事業が誘客促進等につながったことを把握できる成果指標の設定を提案及び実施すること。
- (2) 大阪・関西万博を契機とした東北への実来訪を計測もしくは推計しうる指標・手法を提案すること。

8. その他

- (1) 受託者は、委託者と締結した「業務委託契約書」の各条項を遵守し業務を遂行すること。
- (2) 受託者は、業務に要する機材および消耗品について準備すること。
- (3) 受託者は、業務の各段階において業務の遂行について随時報告を行い委託者の確認を得ること。
- (4) 受託者が業務を遂行する上で必要な資料等は、受託者において入手すること。
- (5) 受託者が業務を遂行する上で受託者及び連携自治体、関係先などと会議や打ち合わせを実施した場合、議事録を作成しWordデータで一週間以内に関係者へメール送付し共有すること。
- (6) 諸般の事情等により本契約の変更を必要と判断した際には、委託者、受託者双方で協議、了承の上、契約の内容を変更することができる。
- (7) 本業務委託期間内において、本業務が中止、又は会場等が変更となった場合、発注者は、事業の中止・変更時点までに発生した費用（企画費、計画費、連絡調整費、人件費、中止・変更のための調整費）について、5. 業務内容（1）（ウ）実施内容⑩補償対応に基づき補償される額を控除した全額を負担する。ただし、受託者の責めに帰すべき理由により、委託業務を完了することができない場合においては、この限りではない。イベント規模の変更や中止に伴う委託料は、実際にかかった費用、もしくは中止時点までに発生した費用を上限とする。
- (8) 仕様書に明示がない事項及び疑義が生じた場合は、連携自治体及び東北観光推進機構との協議により解決するものとする。

以上